

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ORMZ ニュース第 49 号 (H27.11.20)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



**はじめに** 平成 27 年も 11 月下旬となりました。例年より暖かい日が多く、雨も多いのではと感じています。皆さんの地域ではいかがでしょうか？

11 月 14 日は世界糖尿病デーで、宮崎でも糖尿病に関する講演会や検診等が各地で行われました。12 日から 25 日までは、「女性に対する暴力をなくす運動」が全国的に実施されていて、宮崎県庁は、糖尿病デーのブルー、そして暴力防止のシンボルカラーであるパープルにライトアップされています。

今回は、山元香代子先生からのザンビア報告やソロプチミスト日本財団活動資金援助団体に選ばれたことなどについてのご報告です。

### 経過報告 (27 年 11 月以降)

巡回診療の状況は山元香代子先生からの報告に詳しく掲載されています。ザンビアは夏の季節で暑く、事務所のある首都ルサカでは以前よりは改善されたものの、まだまだ計画停電や断水が続いています。

11 月 11 日、公益財団法人ソロプチミスト日本財団から平成 27 年度活動資金援助団体に選ばれ、その授賞式が「サンメッセ香川」(高松市)で開催されました。後ほどご報告します。

### 活動報告 I (ザンビアより山元香代子先生から 10 月 30 日付け)

みなさま、いかがお過ごしですか。日本はすっかり秋も深まっている頃だと思います。ルサカはとても暑いです。電気は以前と比べ、計画停電の時間がやや短縮されてきましたが、水の出が悪く、水圧が低いので、温水器のお湯を使うことはほとんどできない状態です。

ルアノで悲しい報告を聞きました。3 歳の男児が、2 日間熱があり、3 日目に亡くなったそうです。父親と話しましたが、たいしたことないと考え、コミュニティヘルスワーカーの所にも連れていっていません。現在マラリアの患者はとても少ない状況で、この子がマラリアであったかどうかはわかりませんが、とても残念でたまりません。父親にはお悔やみを述べると共に、子供が調子悪い時は早めにコミュニティヘルスワーカーに相談するように伝えました。

10 月 21 日のニャンカンガの巡回診療は、患者数 94 名、マラリア 2 名、かぜが多く、結膜炎、下痢がそれに続きました。コミュニティの協力体制が、私の帰国前の 6 月と比べて大きく改善していて、とても驚きました。ニャンカンガでの活動は 2014 年 6 月から開始され、1 年たった 2015 年 6 月になっても、私たちの到着時には誰も来ておらず、荷物の積み下ろしも自分たちだけでしなくてはいけないような状況でした。私は、カンカンに怒って、もう次回からは来ないとまで言い切り、その後スタッフからはマッドドクター (怒った医者) と呼ばれるようになりました。それが今回到着時にはほとんどみんなそろっていて、一緒に仕事を開始することができました。その上、これまで草ぶきの小屋で診療をしていましたが、りっぱなレンガの建物がほぼ完成していました (写真)。これで雨季でも雨の心配をせずに診療できます。早速、ルサカでトラックの手配をして、10 月 29 日にトタン屋根、ド



ア・窓枠などを運びました。住民がダンスをしてトラックの到着を喜んでくれたそうです。

10月23日、ルアノ地区でドラマグループによる啓発活動を実施しました。多くの人々が集まりました。ヘッドマンと呼ばれるそれぞれの地区の長も6名全員出席していただき、昼食にヤギ1頭の差し入れがありました。マラリア、衛生管理、井戸の使い方などに関して、ドラマグループが面白おかしく演じてくれました。その間にダンスや歌が入り、ルアノバンドも登場（写真）しました。今回は亡くなった子供のこともあり、子供が調子悪い時は早めにコミュニティヘルスワーカーに相談するようにというメッセージを強調してもらいました。

ルアノ地区の若者達による手作り楽器によるバンド演奏



以前指摘したセンターの井戸の排水口がとてもきれいになっていて（写真）、うれしかったです。

鍵をするための鎖をルサカで買い、持参したのですが使う必要はありませんでした。私は、啓発活動の間、今年更に2基掘る場所の選定とこれまで掘削した井戸の状況を見て回りました。とてもきれいに使っている所がほとんどでしたが、一番奥のトンプエ地区の井戸の周りにはゴミが落ち、排水口もきたなく改善が必要で、ヘッドマンにその旨を伝えました。



ルアノはとても暑く、車はクーラーが効きませんので、窓全開で走ります。現在乾季ですので埃がすごいです。ルサカから持ってきたミネラルウォーターは冷ましたお湯のようで、すこしもおいしくありません。途中タイヤのパンクなどもあり、ルサカに帰りついたのは9時半、水がでず、貯め水で髪を洗いましたが、茶色の泡が出て、びっくりしました。その週末は完全にダウンしていました。

10月28日のルアノ地区での巡回診療は、患者数78名、マラリア1名、かぜが多く、結膜炎がそれに続きました。チペンビヘルスセンターから看護師に同乗してもらい、予防接種をお願いしました。車には6人は乗れませんので、私はルサカに残りました。ヘルスセンターに対しては郡保健局から、センターがそれぞれの地域に行く予防接種などのアウトリーチ活動に対する予算が出ているのですが、ルアノにはなかなか行ってくれません。そのため、3-4カ月毎にこちらからお願いしています。もちろん予防接種が終われば、診療を手伝ってもらっています。

また以前から、コミュニティヘルスワーカーから地区内の移動手段がなく困っているとの訴えがありました。今回それぞれのコミュニティヘルスワーカーに自転車を贈ることができました。村で走るのに丈夫なタイヤの大きな自転車です。スパナ、空気入れポンプ、パンク修理キットをつけてもらい850クワチャ（約8500円）です。みなさまからの支援のおかげです。ありがとうございました。

前回お話しした巡回診療車の購入の件ですが、中古車取り扱い店のパキスタン人のオーナーがようやくルサカに戻ってきたので、2008年製のマニュアルのランドクルーザーの値段交渉をしました。ザンビア人のマネージャーが言っていた500,000クワチャではなく、55,000ドルだと言われました。最終的に48,000ドルで、塗装し直し、新しいバッテリー、車両保険、1年分の道路税などを付けてもらいました。新車だと2000万円はすると言われましたが、あまりに高い買い物で、大分粘って交渉したのですが、これ以上まけてもらうことはできませんでした。

毎日忙しく、元気に仕事をしています。どうぞみなさまもお元気でお過ごし下さい。

## 活動報告II（ザンビアより山元香代子先生から 11月15日付け）

みなさま、いかがお過ごしですか。日本は大分寒くなっているのでしょうか。ルサカは10日ほど前に1-2日雨模様で、急に気温が下がりましたが、またとても暑くなっています。電気は相変わらず、

計画停電が続いています。水の出がとても悪くなり、この週末土曜日から日曜日にかけて 16 時間以上全く水がでませんでした。とにかく水が出ている時に、洗い物や水浴びをするように心がけていますが、水道から水が出るのがとてもありがたいです。シャワーはあるのですが水圧が低く使えず、手桶で水浴びです。

11月4日のムワンタヤの巡回診療は、とても肌寒く、小雨が降り、患者数 78 名と少なかったです。マラリア 1 名、かぜが多く、下痢、赤痢疑い、腰痛など体の痛みを訴える患者がそれに続きました。インド政府の支援ですでにヘルスポストの建設が始まっていて、建物が完成し、スタッフが派遣されれば、ムワンタヤ地区への巡回診療も終了になると思います。井戸は多くの人が使っていましたが、井戸の周囲の柵がきちんとできておらず、排水口もきれいではありませんでした。6日にムワンタヤで実施した啓発活動の時に、ヘッドマン達に再度お願いをしました。ルアノと比べて、コミュニティの協力体制が違うのは、部族が違うからだと言われましたが、よくわかりません。

11月11日のルアノ地区での巡回診療は、患者数 76 名、マラリアなし、かぜが多く、結膜炎、体の痛みがそれに続きました。とにかく暑かったです。診察する我々も患者さんも、汗をびっしょりかいての診療でした。この日は運転手のスルさんが先導して、チサンバ郡の長官（政府に任命された知事に当たる人）と保健局長がはじめてルアノを訪問して下さいました。

ルアノが動物保護地域に当たれば、将来的にヘルスポストの建設ができないのですが、それを確認するための訪問でした。あまりに道路が悪いので、途中で何度も引き返そうと考えたとおられました。ルアノは動物保護地域外なので、ヘルスポストの建設は大丈夫で、建物ができればスタッフを派遣すると確約してもらえました。2人の訪問をルアノの人々もとても喜んで、ムコヨと呼ばれるトウモロコシから発酵させて作った飲み物にお砂糖を入れてもてなしたそうです。

ルアノの帰りに夜、チサンバの町を通るのですが、そこで今日ルアノまで運転してきた長官の運転手に会いました。もう2度とルアノには行きたくないとおぼしていました。

3地域での啓発活動が終了し、13日から、NHC（ネイバーフッドヘルスコミッティ、巡回診療の手伝いをしてくれるコミュニティメンバー）とコミュニティヘルスワーカーの再研修セミナーをムワンタヤから開始しました。特にムワンタヤでは井戸の管理が不十分なので、それを含めて、診療時の手伝いの内容、マラリア、薬の内服、妊婦健診、家族計画などに関して講義を行い、午後からはコミュニティヘルスワーカーに、マラリア検査、薬の処方、特に抗マラリア薬、抗生剤について、マニュアルの徹底を再度説明しました。薬の処方がきちんとできず、同じ間違いを繰り返すコミュニティヘルスワーカーがいるのですが、みんなを集めてのセミナーですと、彼らの移動、宿泊、食事のことなどとてもたいへんなので、講師になるスタッフが出向いて実施することとしました。ニャンカンガとルアノでも順次実施予定です。

11月12日に新しいランドクルーザーが手に入りました。車高が高く、ルアノ向きです。窓の開け閉めもボタンではなく手動です。ハンドブレーキのランプがつかない、オートロックができないなどいろいろと小さな問題があり、修理工場通いがしばらく続きそうですが、とても立派な車です。みなさまのご支援のおかげ



で、新しい車を購入できました。ありがとうございました。次回のルアノにはこのランクルで行きたいと思えます。

これまで使っていた1台のランクルは明日から修理工場にはいり、塗装し直し、いくつかの箇所を修理して売りに出す予定です。30,000ドルで購入し、約3年乗りましたが、すべてがコンピューター制御の車で、修理にとってもお金がかかり手放すことにしました。2011年に購入したもう1台のランクルは古いタイプのもので、いろいろと修理していますが、まだ現役バリバリで走っています。

暑い毎日ですが、しっかり食べて、元気に仕事をしています。どうぞみなさまもお元気で、かぜなどひかれないうちにお過ごし下さい。

### **ソロプチミスト日本財団 活動資金援助団体に選ばれました**

公益財団法人ソロプチミスト日本財団では、さまざまな奉仕活動に対する援助、協力を行うことにより、より豊かな生活の実現及び国際相互理解の促進に寄与することを目的にさまざまな事業を実施されており、今回、ソロプチミスト宮崎ひまわりの皆様からの推薦により、当法人の活動が「開発途上国等への国際協力活動に対する顕彰及び支援」事業に該当すると認められ、平成27年度ソロプチミスト日本財団 活動資金援助団体に選ばれました。

11月11日に開催された授賞式には、ソロプチミスト宮崎ひまわりの三上紀美子会長他会員の皆さんが出席され、17日にその時の目録等をお持ちいただきました。

とても光栄なことであり、ご支援いただいている皆様に感謝申し上げますと共に、一緒に喜びたいと思えます。ありがとうございました。



### **賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について**

- ・認定NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会（事業年度は1月から12月）では、賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附のご協力をお願いしています。
- ・入金を確認しました際には、日高からその旨メール（又は郵便）を差し上げます。また当法人は今年1月28日に認定NPO法人となり、この日以降ご寄付（賛助会費含む）いただいた際には、後日、税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高（[info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp)）までご連絡ください。

#### ★郵ちょ銀行からの振替

口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

#### ★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名：NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称（全角）：トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンスルカイ

（注：以前ヲ→オでないとweb送金ができないとのことでしたが、現在はヲでOKです）

以上

今後ともどうぞご支援のほどよろしくお願ひします